

英語語義の図解

政 村 秀 實
(英語研究室)

Illustrated Analysis of the Meanings of English Words

Hidemi MASAMURA

1. はじめに

本稿の目的は英語語彙の意味の本質に視覚イメージを介してせまろうとするもので、筆者の過去4年に渡る語義の図示・図解の試みのうち最も最近の考察を紹介する。今回対象とする語は機能語、内容語あるいは品詞等の点では無作為で、アルファベット順に扱い、特に類義語間の語義の相違について意を注ぐことにする。次章で語義の図解、その解説となる意味の意味、用例、類義語、必要に応じて注の欄を設けて論考を進める。

2. 語義の図解

accident 図 事故；偶然



意味の意味 …へ (ac) 落ちる (cident) が原義。意図されていない事に出くわすは「偶然」であり、ふいうちを食う「事故」にもなる。

用例 There was a railroad accident. 鉄道事故が

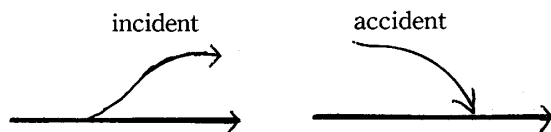
あった。

He met with an *accident* at work. 彼は工作中事故にあった。

It was a happy *accident* that he passed. 彼の合格は思いがけない幸運だった。

He was wealthy by *accident* of birth. 彼は金持ちに生まれついた。

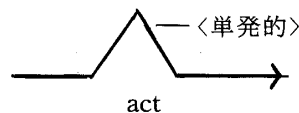
類義語 incident : 「偶発事件」の意で類義。両語の違いを図解する。



Some strange *incidents* happened during our trip. (旅行中妙な事件が起きた。)

An *accident* happened during our trip. (旅行中事故が起きた。)

act 図 行為



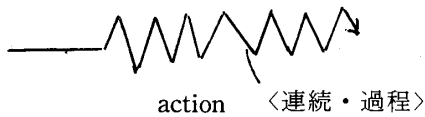
意味の意味 意図を伴う単発的行為。

用例 It was an *act* of God. それは神のしわざだった。

He was caught in the *act*. 彼は現行犯で捕まった。

Her getting angry was just an *act*. 彼女の怒りはみせかけに過ぎなかった。

類義語 *action*: 「行為・行動」の意で類義。事が成される過程に視点をおき, 行為の総体(*act+act+act+...*→*action*) についていう。行動を個別的 (*particular*) に捉えるのが*act*, 総体的 (*general*) に捉えるのが*action*ともいえる。

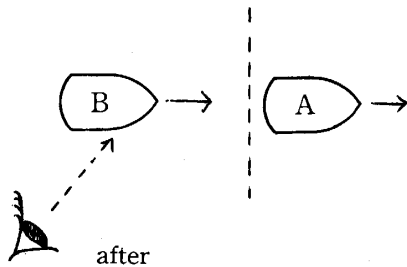


He is quick in *action*. (彼は動作が機敏だ。)

Both armies were in *action*. (両軍は交戦中だった。)

They went into *action* as soon as they got information on it. (彼らはそれに関する情報を得るとすぐに行動を開始した。)

after 副 …の後ろに



意味の意味 対象Bが時間的または位置的にAより後ろになる状態をいう。この時, 話し手の視線はAを想定したあとBにだけ注がれている。AとBは共に動きがあるので, Bに視点を向けると<追求>, あるいは<模倣>のニュアンスが生じる。

用例 We will go out *after* dinner. 私達は食後に出かけます。<(時間) 後に>

Day *after* day the snow continued. くる日もくる日も雪だった。<(時間) 後に>

Close the door *after* you. 後ろのドアを閉めて下さい。<(位置) 後ろに>

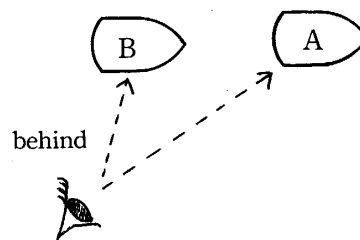
After you. どうぞお先に。<(位置) 後ろに>

What are you *after*? 何を探しているのですか。<追

求>

He was named *after* his uncle. 彼は叔父の名をとって名付けられた。<模倣>

類義語 *behind*: 「(時間・位置が) 後ろに」の意で類義。下図で, ふつうAもBも動きがない(従ってAとBの間隔は常に一定)。話し手の視線は同時にAとBに注がれ, Aを基準にしたBの位置が<後方><背後><遅れ・劣位>などの意味合いをもつ。



She sat *behind* me. (彼女は私の後ろに席をとった。)<後方>

The boy hid *behind* the tree. (その子は木の陰に隠れた。)<後方>

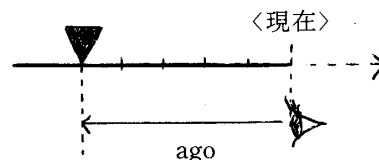
He know what was going on *behind*. (彼は裏の事情に通じていた。)<背後>

I am a little *behind* with my work. (私は少し仕事が遅れている。)<遅れ>

He is *behind* others in his schoolwork. (彼は学業が他の人より少し遅れている。)<劣等>

注 *run after* (追いかける) と *run behind* (後方をついて走る) を比較すると *after* と *behind* の相違がよくわかる: The cat ran *after* a mouse. <視点はa mouseからthe catへ移動する。間隔をつめようとするニュアンスがある。> My dog runs *behind* my bicycle. (うちの犬は私の自転車について走る。)<視点はmy bicycleとmy dogの両方に同時に注がれ, その間隔は一定である。>

ago 副 (今から) …ほど前に



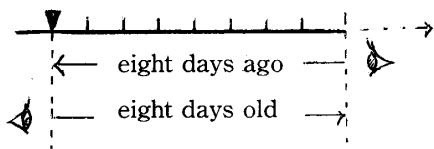
意味の意味 現時点を基準としてどれほど過去の方へ逆のぼるかをいう。

用例 They moved a few months *ago*. 彼らは2, 3ヶ月前に引越しました。

We were in Osaka a long time *ago*. ずっと以前私達は大阪に住んでいた。

注 *ago*はどれほど前かをいうので単独では用いない。**He was in Osaka ago.* → *He was in Osaka before.*

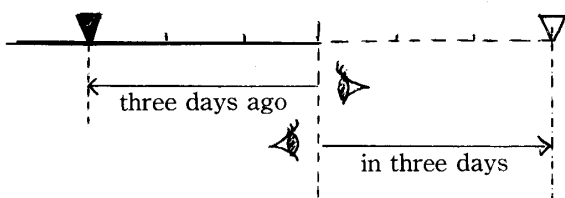
逆に、過去のある時点から現時点までどれほど時間が経過しているかを示すには*old*を用いる。この意味で、*ago*と*old*は対照語の関係にある。



The baby was born five days *ago*.

The baby is five days *old*.

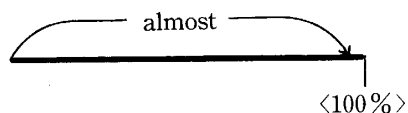
逆に、現時点を基準にどれほど未来の方向へ時間が経過するかを示すには*in*を用いる。この意味で、*ago*と*in*は対照語の関係にある。



He left three days *ago*.

He will leave *in* three days.

almost 副 ほとんど



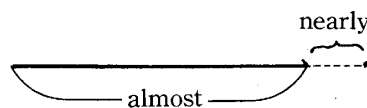
意味の意味 状態や行為に関して、その完成度が100パーセントに近いこと。

用例 She is *almost* always biting her nails. 彼女はほとんどいつも爪をかんでいる。

Almost all the boys are interested in baseball. 大抵の男の子は野球に興味をもっている。

注 日本人学習者は**almost the boys...*と誤り易い。boyなる名詞に完成度はない(常に100%)から*almost*を受付けないわけである。

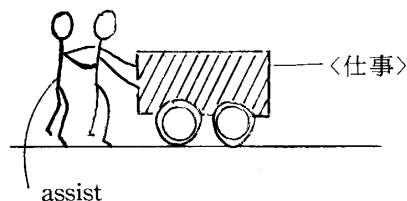
類義語 *nearly* : *almost*とほとんど区別なく用いられる。強いていえば同じ到達度を見るのに*almost*の場合は出発点側、*nearly*の場合は到達点側から見ているといえよう。



She is *nearly/almost* twenty. (彼女はもうすぐはたちです。)

This is *nearly/almost* perfect. (これはほとんど完璧だ。)

assist 動 手伝う；助ける

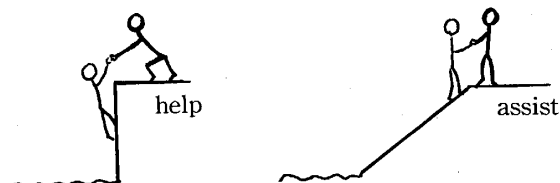


意味の意味 仕事に携わっている人のそばに(as) 立って (sist) 後押しすること。

用例 The junior doctor *assisted* the surgeon at the operation. 若手医師は外科医の手術を手伝った。

Footnotes will *assist* you to read. 脚注は本を読むのに役立つ。

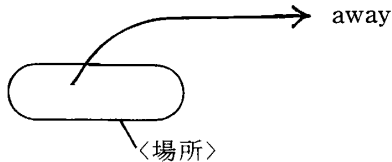
類義語 *help* : 「手伝う、助ける」の意で類義。*assist*よりも強い意で用いる。*assist*はあくまで後押しで、補助がなくても事は運べる。従って**assistless*なる語はないが、*helpless* (どうにもならない) は意味をもって存在する。



He *helped* me. (彼は私を助けてくれた。)

He *assisted* me. (彼は私の手助けをしてくれた。)

away 副 離れて, 向うへ

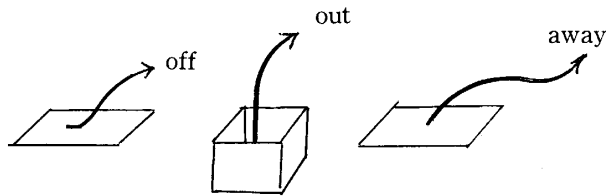


意味の意味 ある場所から離れてゆくようすを表す。離れ方は一定の速度で安定した動きである。awayの結果として<不在>が生じる。

用例 The horse reared, and then ran *away*. 馬がつま先立ち, 逃げだした。

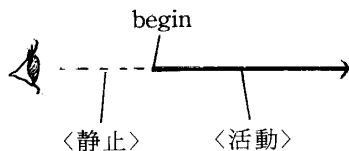
They are *away* on business. 彼らは仕事でいま居ません。

類義語 類義の *off*, *out*, *away* の特性をイメージ化してみる:



— go *off* (立ち去る; 爆発する) — run *off* (急に走り去る) — go *out* (出かける) — run *out* (出かける; なくなる) — go *away* (長期間出かける) — run *away* (家出する)

begin 動 始める; 始まる



意味の意味 静止状態の物・事が活動状態になること。話し手の視点は<主観的立場>にあり, 静から動への変化が予測できるので, この変化をさりげなく表現することになる。

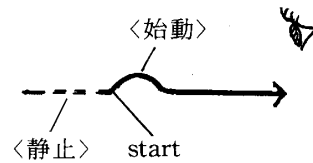
用例 He *began* to draw a picture. 彼は絵を描き始めた。

I *begin* each day by jogging for a while. 私は毎日をまず少しばかりジョギングして始める。

School *begins* at nine. 学校は9時に始まる。

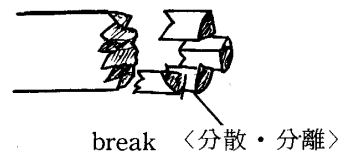
It *began* to rain. 雨が降り始めた。

類義語 **start**: 「始める; 始まる」の意で類義。上の用例文の全てにstartを用いることができる。ただし微妙なニュアンスの変化が生まれる。startは始動状態を第三者の眼で捉え, 一方beginはその状態を当事者の眼で捉える:



たとえば, 歩いている途中で雨が降り始めたら, It *began* to rain. と発想するだろうが, ビルの窓外に雨の降り始めるのを見て濡れる心配もなければ, 第三者的発想で, It *started* to rain. という可能性が強い。児童用英英辞典のbeginの用例文にある「When you *begin*, you *start*。」においてyou *begin*のyouは当事者であり, you *start*のyouは第三者から見たyouである。計らずもこの文はbeginとstartの視点の位置の違いを教えてくれる。

break 動 割る



意味の意味 安定している物や事の総体に外的力を加えて分割・分散を引きおこすこと。

用例 We tried to *break* the enemy's blockade. 私達は敵の封鎖を破ろうとした。<破壊>

That footballer has once *broken* his Achilles' tendon. あのフットボール選手は一度アキレス腱を切っている。<切断>

The clouds *broke* and the sun came through. 雲が切れて太陽がのぞいた。<分散>

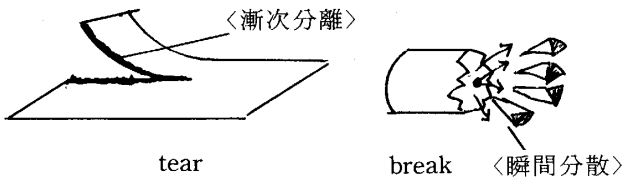
The submarine *broke* the surface suddenly. 潜水艦は水面上に突然浮上した。<平静の破壊>

The cushion worked to *break* the fall. クッションは落

下の衝撃をやわらげるのに役立つ。〈分散〉

Day has *broken*. 夜が開けた。〈平静の破壊〉

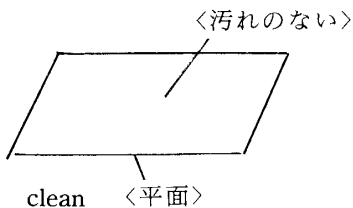
類義語 *tear* : 「破る」の意で類義。*break*は〈点的・瞬間的〉分散, *tear*は〈線的・漸次的〉分割をいう。



He *tore* her dress. (彼は彼女のドレスを裂いた。)

He *broke* the glass. (彼はコップを割った。)

clean **形** きれいな



意味の意味 よごれていないこと。対象は平面体であるが、三次元的な対象——精神・物質——にも用いられる。

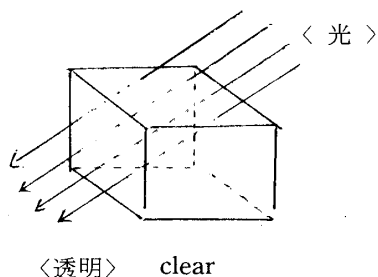
用例 He always wear *clean* shirt. 彼はいつも清潔なシャツを着ている。

Keep your teeth *clean*. 歯をきれいにしておきなさい。

Make your room *clean*. 部屋を掃除してきれいになさい。

注 上の3例とも一見立体物であるが、それぞれの(表)面についての形容である。

類義語 *clear* : 「きれいな」の意で類義。対象は*clean*の平面・二次元に対して、*clear*の対象は、三次元・立体である。

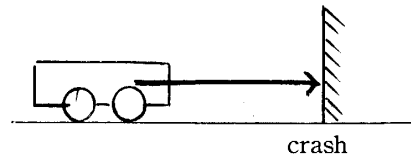


She has *clear* eyes. (彼女は澄んだ目をしている。)

The street was *clear*. (通りには人も車もいなかった。)

The water is *clear* but not clean in this lake. (この湖の水は澄んではいるがきたない。)

crash **動** 衝突する



意味の意味 主体——堅い物——が勢いをもって対象——通例, 堅固で不動の物——に衝突すること。衝撃音を伴い, 主体側に破壊が生じる。

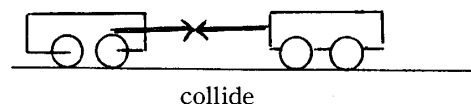
用例 His car *crashed* into a standing concrete mixer. 彼の車は止まっているコンクリートミキサーに衝突した。

The jumbo *crashed* shortly after take-off. ジャンボ機は離陸後すぐに墜落した。

The cup *crashed* to the floor. 茶わんががちゃんと床に落ちた。

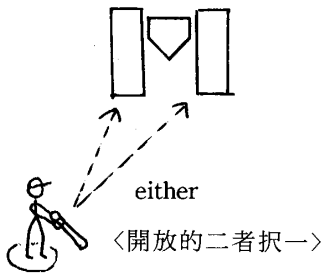
注 名詞の*crash*には動詞としての2つの意味素性——衝突と衝撃音——が明瞭に生きている；—— a plane *crash* (飛行機の墜落) —— a *crash* of thunder (雷鳴) —— with a *crash* (がちゃんと)

類義語 *collide* : 「衝突する」の意で類義。原義は「共に (col) 打つ (lide)」で, ふつう力量において同等位間の衝突で, 双方が共に移動中の衝突についていう。*collide*は衝撃音をニュアンスしないがこれは*crash*と*collide*を発音してみると自明である。



The two cars *collided* (with each other) in the tunnel. (2台の車はトンネルの中で衝突した。)

either **形** どちらかの **名** どちらかの一方



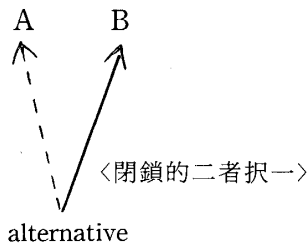
意味の意味 ふたつのうちどちらか1つを選びとれること。選択の対象は同時に眼前に在るが、その選択は未実行(図では破線で表してある)である。対象が無限である〈anyの二者版〉あるいは〈開放的二者択一〉といえよう。

用例 You can take *either* book. どちらの本を持って行っていいですよ。

Either car will do. どちらの車でもいいですよ。

Either is acceptable. どちらでもかまいません。

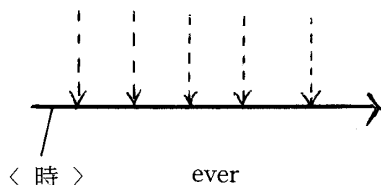
類義語 *alternative*: 「二者択一」の意で類義。2つまたは2つ以上の間での選択で、選択の実行が必定——一方が否なら他方を〈代替〉——で*either*の開放性に比べて〈閉鎖的二者択一〉といえる。選択疑問文を*alternative question*というが、**either question*なら質問にならないだろう。



We had no *alternative* but to surrender. (私達は降伏するしかなかった。)

We have two *alternative* plans for it. (それについては2つの計画案がある。)

ever 副 かつて; ずっと



意味の意味 話し手はある事柄の起きる時点を想定はするが、その時点を特定せず(従って図では破線の矢印となっている)、普遍的に時を捉える。

用例 Have you *ever* been to London? ロンドンに行ったことがありますか。

Do you *ever* go to pop concerts? ポップコンサートに行くことがありますか。

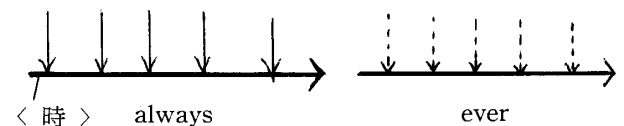
He is hardly *ever* at home. 彼はめったに家に居ません。

Nobody *ever* visits him. 彼のところへは誰も行きません。

If you *ever* come to Tokyo, please visit us. 東京へ来られることがあればぜひお寄り下さい。

注 上の各例文に見られるように疑問文・否定語・if節と相性がよい。これは*ever*のもつ不特定性——*any*の時間版といえる——となじむからである。

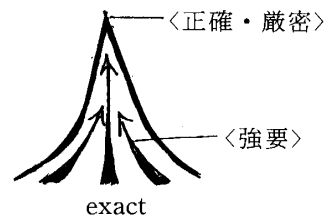
類義語 *always*: 「いつも」の意で類義。話し手は時点を連続的に現実のもの(想定ではなく)として捉える。いわば*every*の時間版といえる。



I *always* walk to school. (=every time)

Do you *ever* walk to school? (=at any time)

exact 形 正確な 動 強いる



意味の意味 絞り込んでいって一点に結ぶ鋭角の頂点のもつ〈鋭さ・正確さ〉がイメージされる。動詞として用いられると、絞り込んでゆく過程〈厳しく迫る〉の意が表出される。

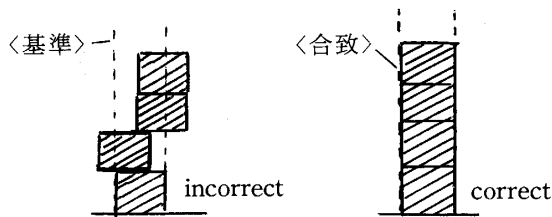
用例 *Exact* observation is required in this study. この研究には厳密な観察が必要とされる。

Do you remember the *exact* date? 正確な日付けを覚えてますか。

The boss finally managed to *exact* obedience from his men. 上司は部下をどうにか自分の言うことに従わせた。

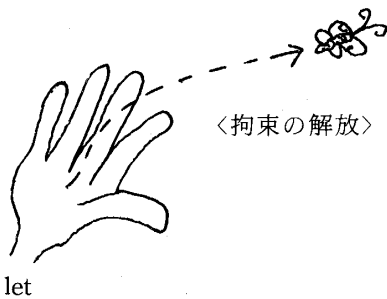
You should *exact* more money for the job. その仕事ならもっとお金を要求すべきですよ。

類義語 **correct** : 「正確な」の意で類義。一定の基準がすでにありそれに合致する正確さをいう。



Your answer is *correct*. (君の解答は正しいです。)
I had my English composition *corrected*. (私は英作文を添削してもらった。)

let **動** …させる

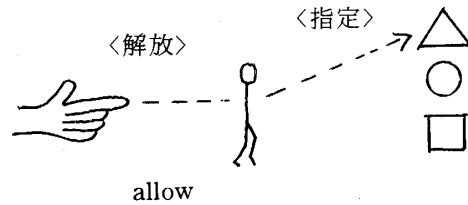


意味の意味 手中(支配下)にある対象をその束縛から放ち、対象の行為・行動をそれ自体の意向に任せること。

用例 *Let me do it.* 私にそれをやらせて下さい。
He let her go. 彼は彼女を行かせた。
Let me know your address. 君の住所を教えてください。
You shouldn't let your dog loose. 犬を放し飼いしたらだめですよ。
Let me alone. かまわないでくれ。

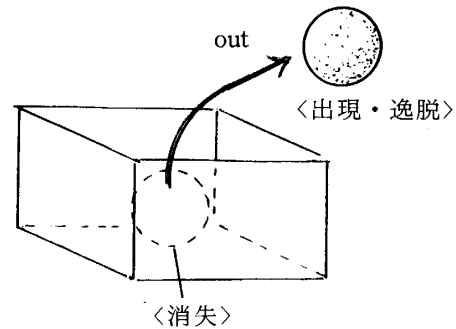
類義語 **allow** : 「…の意向どおりにさせる」の意で類義。対象と行動の関係において、letの方が自然の流れ、関連性が強くallowの方は選択性が強いといえる。たとえばWe let the fish goを*We allowed the

fish to goというと不自然である。魚の解放とは「遊泳」がおきまりの流れであるから選択性指向をもつallowとは相性が悪いといえる。



He *allowed* his son to join the movement. (彼は息子がその運動に加わることを許した)

out **副** 外へ



意味の意味 主体が対象から離れて外に出ること。対象は立体であるので<外出><出現><逸脱>が生じ、このとき視点を対象内に移すと<消失>が起っている。

用例 *Let's go out for a walk.* 散歩に出ましょう。
<外出>

He is *out* (of the office). 彼は不在です。<外出>

He is *out* (of power). 彼は権力を失った。<逸脱>

You come *out* well in photographs. あなたは写真撮りがよい。<出現>

Cherry blossoms have begun to come *out*. 桜が咲き始めた。<出現>

The fire went *out*. 火が消えた。<消失>

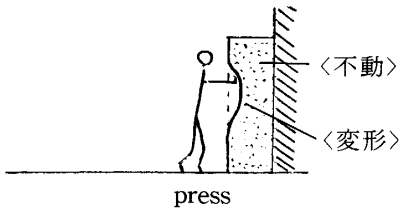
注 outと類似の意味をもつoffは面を対象にする：
The cat got *off* the bed. (猫はベッドから降りた。)
She got *out* of bed. (彼女はベッドから起きだしてきた。)

She got *off* the bus. (彼女はバスを降りた。<床面から>)
He got *out* of the car. (彼は車から降りた。<立体空間から>)

She managed to get the stains off. (彼女は何とかしみを取ることができた。〈布面から〉)

He managed to get the tooth out. (彼は何とかその歯を抜くことができた。〈歯茎から〉)

press 動 押す



意味の意味 位置的移動を起こさない固定した対象に対して圧力を加えること。従って対象にはふうう変形が生じる。

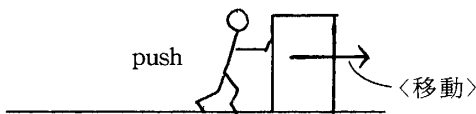
用例 They press grapes to make wine. ブドウを絞ってワインをつくる。

The little girl pressed her lips against the window. 少女は窓に唇を押し当てた。

I had my trousers pressed. スボンにアイロンをかけてもらった。

He pressed my hand firmly. 彼は私の手をぎゅっと握った。

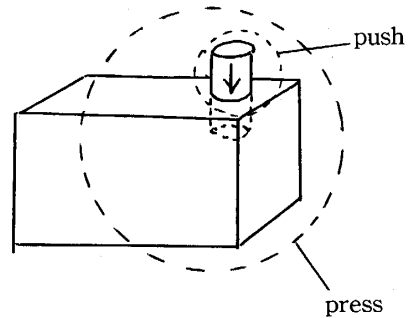
類義語 push : 「押す」の意で類義。対象に対して、主体から離れるように移動を目的として力を加える。



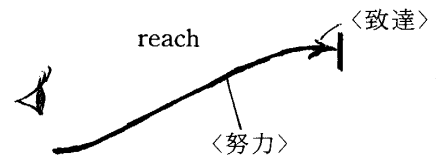
He pushed the opponent out of the ring. (彼は相手を土俵から押し出した。)

We had to push the car to get it to start. (私達は車を始動させるために押さねばならなかった。)

注 たとえばカメラのボタンを押すときpress/push the buttonのように両語とも可であるが、これは同じ行為に対する視点の違いから生じている。図解してみる：



reach 動 …に着く



意味の意味 原義は「(手を)伸ばす」。時間や力を費やして目的に到達すること。

用例 Our team reached the finals. 私達のチームは決勝へ進出した。

We'll never reach the hotel before dark. 私達は日暮れまでにはホテルにとうてい着けない。

I called her many times but failed to reach her. 彼女に何度も電話をしたが、連絡がつかなかった。

Can you reach the ceiling? 天井に手が届きますか。

Who will reach the goal first? 誰が最初にゴールするだろうか。

類義語 arrive : 「…に着く」の意で類義。arriveの場合、話し手の眼は到着地側にある。このためにarriveは直後に到着地を示す必要がない場面もある。話し手の眼が出発地側にあるreachの場合は到達地を明示しなくてはならない。行き先、つまり自分の現在地以外の場所は、それこそ地上に無数にあるのだから明示は当然であろう。



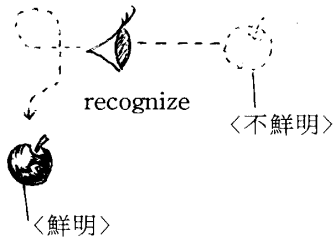
What time did you arrive? (何時に着きましたか。)

*What time did you reach? → What time did you reach the place?)

注 arriveとreachの眼の位置については、到着時刻

をthe arrival timeといい、*the reach timeとはいわないことからわかる。

recognize 動…と認める



意味の意味 不鮮明なものをそれに関する既知の情報と照らし合わせて、そのものであると判断すること。

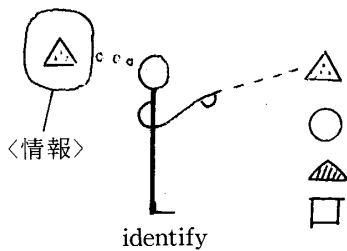
用例 I recognized John by the way he walked. 歩き方でジョンとわかった。

I couldn't recognize you because you were wearing glasses. 眼鏡をかけていらっしやったのであなたとは気がませんでした。

He recognized that he made a mistake. 彼は自分が間違っていることを認めた。

He recognized the child as his son. 彼はその子を実の息子と認めた。

類義語 identify: 「確認する」の意で類義。既得の情報と眼前の対象物のもっている形態・特徴とを照合して一致していると判別すること。

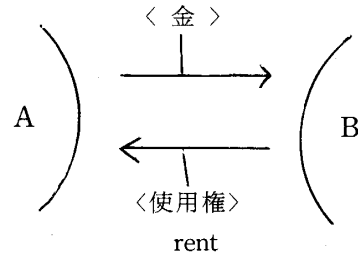


They identified the body as their son's. 彼らは遺体を息子のものと確認した。

Can you identify your baggage? 君の荷物がどれかわかりますか。

You should identify yourself when you take the examination. 試験を受けるときは身分証明をしなければいけません。

rent 動 賃借りする；賃貸する



意味の意味 使用権の移動を行うに際し、相対的に金の移動を行って双方の利益の平衡を計ること。図でAの立場なら賃借り、Bなら賃貸し。

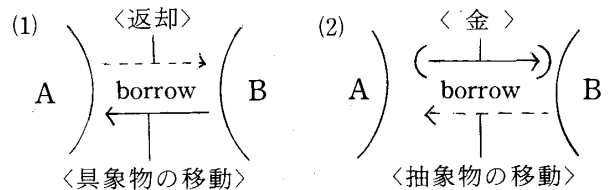
用例 We rent the house to Mr. Brown. 私達は家をブラウンさんに貸している。

We rent the house from Mr. Brown. 私達は家をブラウンさんから借りている。

They rent TVs and cameras. あの店ではテレビやカメラの貸し出しをやっている。

You can rent potted plants. 盆栽のレンタルができますよ。

類義語 borrow: 「借りる」の意で類義。(1)物や金など<具象物>を返却を前提として借りること。この際具象物の移動が起る。(2)理論や思想など<抽象物>がborrowの対象になると、具象物でないので相手側の諒解なしに移動し借用されることがある。<抽象物>の返却は不可能であるから、不公平、不満が生じる時は金で解決することになる。



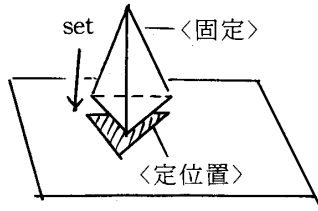
I borrow books from the library. 私は図書館で本を借りることにしている。

They must have borrowed my idea. 彼らは私のアイデアを借用したに違いない。

English has borrowed many words from other languages. 英語は他の諸言語から多くの単語を借入している。▶この場合borrowは無作為になされるので双方の諒解は当然ながらない。

注 具体物の移動とは、所有の移動で(移動距離は問わない—その場で使うこともある)、所有権は移らない。

set 動 置く, ずえる



意味の意味 対象——物・人・事——をすでに頭の中に描かれた位置に置いたり, 状態にすること。一端置かれると, その体勢を持続・固定するニュアンスがある。

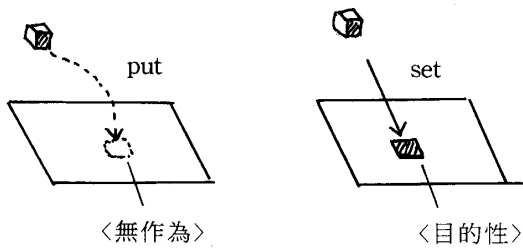
用例 He set a ladder against the tree. 彼ははしごを壁にたてかけた。

She set the vase in the alcove. 彼女は床の間に花瓶を置いた。

You should set the alarm clock. 目覚しを合わせておきなさいよ。

注 次の3例は<固定>の方が色濃くでている。
 I have got my hair set. 髪をセットしてもらった。
 Jelly sets as it cools. ゼリーは冷えると固まる。
 The bargaining sets wages. 交渉によって賃金が決まる。

類義語 put: 「置く」の意で類義。setとの違いは次のように図解できる。

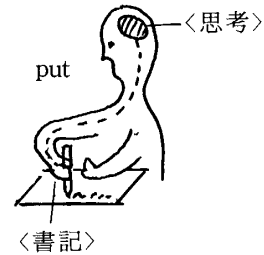


He put the scissors on the table. 彼は鋏をテーブルの上に置いた。

Put your hand on your head. 手を頭に置いてごらん。

My words put her in a bad mood. 私の言ったことで彼女は不機嫌になった。

It's a tough problem, to put it mildly. 控え目に言ってもそれはやっかいな問題だ。▶putの「言う, 書き表す」の意は次のように図解すれば原義からの繋がりが納得できよう。



3. おわりに

重要語についてはこの稿を含めてかなりの考察を加えてきたが, まだまだ再考・修正を加えてゆきたい。次の段階としては英語母国語話者に一日本人学習者の英語語彙に描いたイメージを知ってもらくと同時に, それをたたき台にさらに考察を深めてゆきたい。

参考文献

Bolinger, D.: *Meaning and Form*, Longman, London 1977
 McArthur, T.: *Longman LEXICON of Contemporary English*, Longman, Hong Kong, 1981
 Skeat W. W.: *Etymological Dictionary of the English Language*, Oxford U.P., New York, 1985
 マーク・ピーターセン: 日本人の英語, 岩波書店, 東京, 1988
 柴田省三: 語彙論, 大修館書店, 東京, 1975
 中右 実: 意味論, 大修館書店, 東京, 1983
 國廣哲弥: 意味と語彙, 大修館書店, 東京, 1981
 田中茂範: コアとプロトタイプ, 三友社, 東京, 1987

(昭和63年10月31日受理)